

ビワ生育情報

千葉県
平成23年5月号

平成23年4月の気象

平成23年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第1及び第4半旬を除く4半旬で平年を上回った。月平均気温は14.3℃で、平年より0.2℃、前年より2.3℃高かった。

降水量は第4及び第5半旬を除く4半旬で平年を下回った。月合計は104mmで、平年より56mm(35%)、降水量の多かった前年より205mm(66%)少なかった。

日照時間は第2半旬を除く5半旬で平年を上回った。月合計は229時間で、平年より63時間(38%)、日照時間の少なかった前年より104時間(83%)多かった。

表1 平成23年4月の気象(館山測候所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	10.4	12.0	12.5	3	30	98	41	25	11
2	14.8	12.9	11.6	12	28	7	26	27	25
3	14.0	13.6	11.9	11	27	59	50	27	14
4	14.2	14.4	10.2	32	27	60	37	28	17
5	15.6	15.4	10.9	42	25	54	31	29	25
6	17.0	16.2	14.8	5	23	32	44	30	33
平均合計	14.3	14.1	12.0	104	160	309	229	166	125

6月の作業(果実の発育は次ページ)

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月下旬には終了する。夏肥(礼肥)は収穫後の樹勢をすみやかに回復させるために欠かせない作業であるため、適期をのがさず施用する。また台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

収穫

6月は露地ビワの収穫最盛期に当たる。市場において他の果実との競合が激しくなっているため、品質の良い完熟果を出荷して市場、消費者の信頼を得るように心がけたい。

夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素10kg、りん酸9kg、加里5kg、耕土の深い園でそれぞれ7kg、8kg、3kgを施用する。

果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が2.21cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ2.54cm、2.16cmであった。本年の横径は3品種ともに平年より13～24%小さく、生育不良だった前年と比較しても6～12%小さかった。

縦径は「楠」が2.46cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ2.78cm、2.48cmであった。本年の縦径は3品種ともに平年より7～20%小さく、生育不良だった前年と比較すると、「大房」は前年と同程度で、「楠」及び「田中」は前年より4%小さかった。

果径指数は「楠」が0.90、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.91、0.87で、3品種共に平年より低かった。果形は平年より縦長の傾向である。

「大房」及び「田中」は開花始期が平年より遅れたことや、3月上旬から4月上旬までの低温の影響により、5月1日時点の果実の発育は3品種共に平年より遅れている。本年は平年に比べ、着花房率が著しく高かったが、寒害の被害はやや多かったため、着果量は平年よりやや多いか平年並みである。しかし、小果傾向であるため、減収が予想される。また、病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年並で、果実の被害程度も平年並である。果樹カメムシ類は、越冬量が南房総市ほか県南地域で平年より少ないが、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果径指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	2.21	2.89	2.51	2.46	3.09	2.55	0.90	0.94	0.98
	青 木	2.45	3.04	2.77	2.71	3.11	2.88	0.90	0.98	0.96
大 房	南 無 谷	2.60	3.00	2.75	2.81	3.05	2.73	0.93	0.99	1.01
	暖地園研	2.57	2.73	2.60	2.82	2.85	2.74	0.91	0.96	0.95
	平 均	2.54	2.93	2.71	2.78	3.00	2.78	0.91	0.97	0.97
田 中	青 木	2.12	2.78	2.50	2.46	3.06	2.73	0.86	0.91	0.92
	南 無 谷	2.15	2.66	2.32	2.45	2.92	2.53	0.88	0.91	0.92
	暖地園研	2.22	2.61	2.36	2.54	2.83	2.51	0.87	0.92	0.94
	平 均	2.16	2.68	2.39	2.48	2.94	2.59	0.87	0.92	0.92

果径指数：横径／縦径

平年：1986年～2010年の25年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>